

部会ニュース

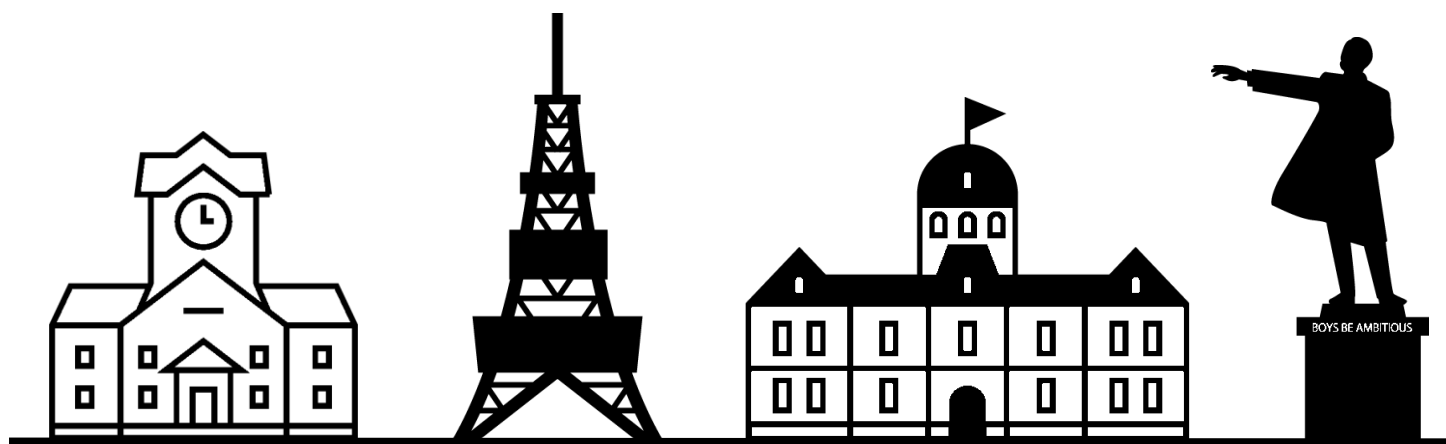


11

2022. 11. 15

発行
札幌商工会議所

The Sapporo Chamber of Commerce and Industry



Contents

10月開催の事業

- 建設部会×設備工部会 第2回「建設業・設備工事業における働き方改革シリーズセミナー」
- 住宅不動産部会 「ほっかいどう住宅フェア2022」
- 食品・貿易部会 「食品関連事業者マッチング事業 in ホテルノイシュロス小樽」
- 食品・貿易部会 「北海道まるごとフェア in サンシャインシティ2022」
- 食品・貿易部会 道産食品輸出商談会「FOOD HOKKAIDO2022」
- 情報部会 「大阪×札幌 ビジネス交流会」
- 情報部会 「デザイン導入プロモーション事業」
- 情報部会 「第2回クリエイティブ・オフィス見学会」
- 情報部会 「介護×IT 情報交換会」
- 情報部会 「JAPAN IT Week 秋2022 ソフトウェア&アプリ開発展」
- ものづくり工業部会 「ものづくり業界座談会」
- 観光部会 佐藤大介氏による講演会「マーケティング思考による地方創生のリアルと私の人生の選択」
- 健康・文化部会 「eスポーツを活用した新ビジネスモデル構築のための実証実験事業」

お知らせ

- ものづくり工業部会 「学生アイデアプレゼンテーション」のご案内
- 11部会共通 「退職自衛官(若年定年制・自衛隊新卒)採用セミナー」のご案内
- 11部会共通 「令和4年度 容器包装リサイクル制度説明会・個別相談会」のご案内

部会ニュース

令和4年11月号

(10月15日以降開催の事業、11月下旬～開催事業のお知らせ) 発行：札幌商工会議所

本紙は各部会・分科会の活動や
今後の予定をお知らせするものです。

建設部会、住宅・不動産部会、
設備工事部会、ものづくり工業部会

……産業部 地域振興・ものづくり課 011-231-1373

運輸・自動車部会、生活関連商業部会、
金融・サービス部会、健康・文化部会

……産業部 生活・サービス産業課 011-231-1374

情報部会

……産業部 生産性向上推進室 011-231-1377

観光部会

……国際・観光部 国際交流・観光課 011-231-1330

食品・貿易部会

……国際・観光部 食産業・貿易課 011-231-1332

建設部会×設備工事部会

第2回 建設業・設備工事業における 働き方改革シリーズセミナー

10月11日(火)、令和6年4月から建設業等に適用される時間外労働上限規制に関して、企業が講ずべき具体的な措置について情報提供することを目的にセミナーを開催した。

第2回となる今回は、実践編「働き方改革に伴う企業の課題と解決策について」と題し、アンビシャス総合法律事務所澤井氏よりご講演いただいた。前回終了後、参加企業に実施したアンケート結果を踏まえ、各企業が抱える課題に対して解決策や事例の紹介等を行った。参加者からは働き方改革をテーマとしたセミナーを今後も継続して開催してほしいという声が多く寄せられた。また、セミナー終了後には、講師と参加者の個別相談を行った。

ハイブリッド形式で開催し、会場23名、オンライン58名、合計81名が参加した。



＜澤井氏による講演の様子＞



＜個別相談の様子＞

住宅・不動産部会

「ほっかいどう住宅フェア2022」

10月15日（土）～16日（日）に開催された、「ほっかいどう住宅フェア2022」地下歩行空間会場に、（一社）北海道住宅都市開発協会と共同でブース出展した。

当日はブース内にプロジェクター・スクリーンを設置し、360度映像で家を見ることが出来る「HOUSING BOOKMARK」の投影による、登録企業のPRを行ったほか、当所が実施する住まいの相談窓口と、その登録企業のPR等を行った。ブースには、住まいに関する相談や、戸建住宅の購入を検討している方などが訪れ、効果的なイベントとなった。



＜当所出展ブースの様子＞



＜アカプラ会場の様子＞

食品・貿易部会

食品関連事業者マッチング in ホテルノイシュロス小樽

9月30日（金）、北海道の食のブランド力向上と新たな商品開発・販路拡大を目的に、後志管内の一次生産者5社と札幌市内の食品関連事業者13社15名がマッチング事業に参加した。当日は一次生産者がこだわりを持って生産した品をホテルノイシュロス小樽の料理長が特別コースメニューを参加者に提供した。参加者からは、「生産者さんの生の声が聞けて参考になった」、「旬の食材を使った創作フレンチが素晴らしかった」などの感想があった。



＜一次生産者から商品の説明を受ける参加者＞



＜出品商品を使用した特別メニュー提供の様子＞

北海道まるごとフェア in サンシャインシティ2022

10月7日（金）～11日（火）、北海道の「食」と「観光」の情報発信による販路拡大と観光客の誘致を目的とした物産展「北海道まるごとフェア」を池袋サンシャインシティにて開催した。

今年で5回目となる本フェアは、61社・団体が出展し、海産物や道産牛、スイーツなどの道内各地のグルメを販売したほか、ご当地キャラクターによる観光PRやアンケート抽選会も行われた。

また、関東圏から札幌圏への移住を促進し人材定着を図るため、「札幌で働こう！U I J ターン相談コーナー」にて、就職相談や移住支援金の紹介を実施し、延べ37件の相談があった。

新型コロナウイルス感染症対策として昨年に引き続き事前予約制を導入したが、5日間で前年を大きく上回る32,352人が来場した。



＜多くの来場者で賑わう会場＞



＜U I J ターン相談コーナー＞

道産食品輸出商談会「FOOD HOKKAIDO 2022」

10月20日（木）～21日（金）、道産食品の海外への販路拡大を目的に、海外食品バイヤーとの商談会「FOOD HOKKAIDO 2022」を開催した。

今年度は国内に拠点を持つ海外バイヤー・商社16社を札幌に招聘し、道内食品サプライヤー54社と対面で商談を行った。会場では検温や消毒、換気に加え、ブースごとに広く間隔を空け、商談ごとの消毒を行うなど感染症対策を徹底した。

商談件数は2日間で約220件となり、参加企業からは「試食でバイヤーの反応を見ながら商談を進められるのは有り難い」「対面商談は今後も継続してほしい」といった声が寄せられた。



＜商談会場の様子＞



＜試食を提供しながら商談を進める参加者＞

大阪×札幌 ビジネス交流会

10月3日（月）、情報関連産業の振興を目的に活動している「ニアショア推進協会」として、道外企業からの受注拡大や交流・関係構築のため、大阪商工会議所との共催にて、大阪×札幌ビジネス交流会を開催した。当日は、協会会員6社が大阪を訪れ、大阪のIT企業6社と交流を図った。交流会には17名が参加し、各社会社説明や情報交換の時間を使い、協業の可能性など交流を行った。今後に向けた連携など、具体的な商談のきっかけとなる交流会となった。



＜会社紹介の様子＞



＜自由交流の様子＞

デザイン導入プロモーション事業

10月7日（金）、（一社）北海道デザイン協議会の協力のもと、デザイン経営を学ぶセミナーや、デザイン導入事例紹介、展示交流会を開催し、34名が参加した。当日は、（一社）北海道デザイン協議会 副会長伊藤友一氏より「商品開発・ブランディングにデザインの力」についてのセミナーや、デザイン導入事例を4社にご紹介いただいた。また、展示交流会には、グラフィックデザイナーや建築・ファッションなどのデザイナーがブースを構え参加者と交流を深めた。



＜伊藤副会長講演の様子＞



＜展示交流の様子＞

第2回 クリエイティブ・オフィス見学会

10月14日（金）、幸楽輸送㈱のご協力のもと見学会を開催し、11名が参加した。幸楽輸送㈱はグループ内フリーアドレスを採用。女性専用の休憩スペースを設置する他、社内中央に打合せスペースを配置し、コミュニケーションの活性化を図っている。また、太陽光パネルやBCP関連の設備など、環境配慮と災害対応についての取り組みもご紹介頂いた。参加者からは、自社で取り組む際の注意点や使用方法など質問があり、今後のオフィスづくりに役立つ見学会となった。



<ミニセミナーの様子>



<社内見学の様子>

介護×IT 情報交換会

10月21（金）、情報部会主催で介護福祉サービス企業とIT関連企業との情報交換会を実施した。当日は介護福祉サービス企業4社、情報処理・サービス企業5社が参加し、各社会社紹介を行った後、ITコーディネータ 佐々木身智子氏の進行のもと情報交換を行った。介護福祉サービス企業からは、業務の現状や課題などについて意見があり、IT関連企業からはその課題をどのような技術で解決できるのか、ITソリューションを紹介するなど活発な情報交換会となった。



<情報交換会の様子>

JAPAN IT Week 秋2022 ソフトウェア&アプリ開発展

「ニアショア推進協会」では、10月26日から28日に幕張メッセにて開催された「JAPAN IT WEEK 秋 2022」のソフトウェア&アプリ開発展へ協会会員4社が出展した。道外企業からの受注拡大を目的とし、今年度は、(株)大東バリューイノベーション、システムデザイン開発(株)、(株)ディーディーエル、(株)リッジワークスの4社がブースを構え、多くの方に来場頂いた。本展示会をきっかけに、今後多くの商談を予定しており、既に道外企業から協業の相談を受けている。



<会場の様子>

ものづくり工業部会

ものづくり業界座談会

10月19日（水）、企業間の交流と業界課題解決に繋がる情報交換の機会を創出することを目的に「ものづくり業界座談会」を開催し、機械器具、鉄鋼・金属、建設資材、エネルギー・化学製品、産業リース分科会より、正副分科会長 計10名が出席した。

当日は、原材料の高騰や半導体の供給不足への対応方法、若手人材育成の課題等、各社の経営環境や課題について情報交換を行った。

製造業における喫緊の課題となっている原材料高騰への対応については、「取引先に対して値上げの根拠となる資料を作成し説明対応」する他、「複数社が協力して値上げ交渉を行う」など、各社から様々な意見があり活発な座談会となった。



<座談会の様子>

観光部会

佐藤大介氏による講演会

「マーケティング思考による地方創生のリアルと私の人生の選択」

10月3日（月）、コロナ禍での新たな観光事業の可能性や反転策について、星野リゾート・トマムの再生や嬬刀による沖縄テーマパーク事業などを推進している株式会社東北アレンジャーズ佐藤大介氏による講演会を開催し、120名が参加した。

当日は、「マーケティング思考による地方創生のリアルと私の人生の選択」をテーマに古牧温泉（現星野リゾート青森屋）やアルファリゾートトマム（現星野リゾートトマム）の復興など自身の経験に基づきご講話いただいた。参加者からは多くの質問があがり、「札幌観光の魅力を引き出すヒントをいただいた」との感想があった。



＜講演する佐藤大介氏＞



＜講演会の様子＞

健康・文化部会

eスポーツを活用した新ビジネスモデル構築のための実証実験事業

10月27日（木）～28日（金）、eスポーツを活用した新ビジネスモデル構築のための実証実験事業として、（社）栄和会が運営する高齢者施設で「健康ゲーム指導士養成講座」と「eスポーツ体験会」を実施した。

本イベントは、施設内レクリエーションをデジタル化することで、高齢者の認知症予防対策や非接触の交流・健康増進の機会となり得るか、また、高齢者施設へのeスポーツの導入が新しいビジネスモデルとなり得るかを検証する目的で実施した。

日本アクティビティ協会理事長の川崎陽一氏の協力のもと、1日目の「健康ゲーム指導士養成講座」では8名の職員が実際に機材に触れながらシニアアクティビティの教育を受けた。2日目の「eスポーツ体験会」では、15名の施設利用者が「グランツーリスモ」（ソニー・インタラクティブエンタテインメント©）と「太鼓の達人」（バンダイナムコエンターテインメント©）を体験した。

参加した職員からは、「施設利用者への良い刺激になったとともに、レクリエーションの幅が広がる」との感想があった。また、イベント後、講座を受けた8名は全員健康ゲーム指導士の認定を受けた。



＜1日目：実際にプレイし進行のコツを学ぶ様子＞



＜2日目：会場全体が盛り上がる様子＞

お知らせ

ものづくり工業部会

「学生アイデアプレゼンテーション」

当所では、学生の製品化・事業アイデアと地元企業等とのマッチングを通じ、新分野・新商品開発への一助とすることに加え、道内理系・技術系学生の道内定着の促進を目的に支援事業を実施しております。

今般、第5回目となる学生アイデアプレゼンテーションを下記の通り実施致します。SDGs やカーボンニュートラルに繋がるアイデアの発表もごございますので、ぜひご参加ください。

【概要】

日時：令和4年12月7日（水） 13：30～15：30

場所：ニューオータニイン札幌 2階「鶴の間」

発表内容：自己紹介含め発表10分＋質疑応答2分

＜製品化支援コース＞	
①北海道大学	グリーンプレミア農業に向けた電気化学的 CO2 回収装置の開発
②北海道科学大学	超指向性音によるエゾシカと車両の衝突回避のための車載スピーカーシステム開発
③北海道情報大学	博物館等文化財の展示現場に於ける文化財を災害から守る展示ケースの制作
④北海道大学	生分解性プラスチックに作成したバイオフィルムの社会実装とマイクロプラスチックの回収
⑤北海学園大学	マスク着用時の顔の可視化によるコミュニケーションを促進するシステムの開発
⑥旭川工業高等専門学校（オンライン）	持続可能なファッション業界の実現に向けたファッションプラットフォームの構築
＜起業支援コース＞	
⑦北海道大学	Beeber Global 国際的なボランティアと日本のホストを繋ぐ多言語のオンラインプラットフォーム

参加費：無料

申込期日：令和4年11月30日（水）迄にお申し込みください。

参加申込：参加規約にご同意いただき、専用フォームからお申込みください。

https://www.sapporo-cci.or.jp/web/events/details/post_114.html

参加規約



申込フォーム



■お問い合わせ先■

産業部 地域振興・ものづくり課 TEL：011-231-1373 E-mail：tiiki@sapporo-cci.or.jp

11部会共通

「退職自衛官(若年定年制・自衛隊新卒)採用セミナー」のご案内

当所では自衛隊札幌地方協力本部と連携し、各駐屯地における業界説明会の開催等、民間企業への就職を目指す退職自衛官に対し、業界振興と就職支援を行っております。本セミナーでは、退職自衛官（若年定年制*／自衛隊新卒**）制度や自衛隊における就職の援助について、自衛隊札幌地方協力本部援護課の担当者より情報提供を行います。またセミナー終了後には、参加企業様を対象に個別相談会も併せて開催致します。

* 若年定年制：55歳～57歳で定年を迎え、退官後は各種資格を活かし、民間企業に再就職している

** 自衛隊新卒：任期（2年～6年）を修了し、多くが20代前半で民間企業に再就職している

【概要】

日 時：令和4年12月8日（木） 14：00～15：30

場 所：ニューオータニイン札幌 2階「鶴の間」（札幌市中央区北2条西1丁目1-1）

参加費：当所会員 無料

当所非会員 5,000円

申 込：https://www.sapporo-cci.or.jp/web/events/details/post_116.html



■お問い合わせ先■

産業部 地域振興・ものづくり課 TEL：011-231-1373 E-mail：tiiki@sapporo-cci.or.jp

「令和4年度 容器包装リサイクル制度説明会・個別相談会」のご案内



当所では、容器包装に関わる事業者の皆様（ただし同法が規定する小規模事業者は適用外）に、容器包装リサイクル制度の基礎知識と、リサイクル義務を果たすための事務手続き等について、改めてご理解を賜りたく下記の通り説明会・個別相談会を開催致します。

【概要】

日 時：令和5年1月12日（木） 13：30～16：00

場 所：北海道経済センター 8階「Aホール」

開催形式：ハイブリッド形式（会場・オンライン（YouTubeによる同時配信））

会場定員：50名（先着順） 参加費：無料

内 容：①容器包装リサイクル制度について
②リサイクル（再商品化）の委託申込手続き等について
③個別相談会（会場のみ）

申 込：事務局までお問い合わせください。

■お問い合わせ先■

産業部 地域振興・ものづくり課 TEL：011-231-1373 E-mail：tiiki@sapporo-cci.or.jp